

議案第 4 号

2023年度 そよかせ事業計画

1.事業計画

- (1) 定員: 移行支援 6人 継続B型 14人は従来通り。
- (2) 利用者数: 一日当り 移行支援 4.5 人、継続B型 10 人(年間平均)を目標とする。また、定着支援の利用者数は6~8人を予定している。
- (3) 訓練等給付金目標 上半期 253 万円/月、下半期 253 万円/月
- (4) 工賃月額平均目標、B型 11.000 円、 移行 18.000 円
- (5) 目標就労者数(2023 年 10 月 1 日までに): 就労移行 2 人
- (6) 職員研修: 権利擁護、就労支援その他の実務研修などに参加できるよう勤務体系を配慮して参加を促し、職務能力の向上に努めます。
- (7) 増収計画: 職員の給与改善のための人件費負担増に備え、また工賃向上のためにもレストラン・カフェ事業の収益性向上と新規生産事業(外部就労を含め)の開拓を進めます。
- (8) 指定特定相談支援事業の新規立ち上げ。

現在取手市には9か所の相談支援事業所しかなく、利用者さんの満足いく利用が出来ていないのが現状であります。そよかせに新たに相談支援事業所を立ち上げることで少しでもその解消に向けて進めることと、そよかせの利用者さんにとってさらに役立つ支援の実現をたく考えます。設置は令和5年5月1日となります。

事業ごとの計画

・移行支援

各利用者のニーズに応じてオーダーメイドで支援プログラムを組み立て、通常の作業に加え、就労に必要な技能や履歴書の書き方、模擬面接などの実践的な訓練を実際の就労先の最新の情報を得て提供します。

・就労継続支援B型

就労移行に比べてそよかせの利用目的が明確でない場合も多く、本人の希望を良く聞いた上で個別支援計画を立案して、日常生活の改善や体力、能力の回復・向上に努めます。また、コロナ感染症の拡大防止に配慮しながらレクリエーションも取り入れてそよかせで過ごす時間が充実したものになる様に努めます。

・就労定着支援

従来通りそよかせ卒業生との対話を深めかつ採用先の担当者とのミーティングを活発化するように努めます。また、支援レポートを職場の上司と共有し、円滑な勤務の実現に努めます。更に、今年度初めて外部事業所から就労された方の定着支援を行いました。その広がりを求めていきたいと考えます。

・指定特定相談支援事業

5月1日より正式に開始となります。開始前に新規の方を始め、現在の相談支援専門員の方から変更してそよかぜに受け持ちを変える方の手続きも進んでいます。

地域の多くの方たちのお役に立てるよう努めていきます。

・その他の業務

DM 便事業：現状維持を目指すが、担当を希望する利用者が減少する傾向にあり、新規担当者の確保を心掛けます。

清掃事業：清掃業務の技術向上を目指して行っています。この仕事についても後継者の養成が必要です。

厨房、喫茶：新規事業も視野に入れて業務全般を見直す必要があります。

施設外就労：より一般就労に近い環境での作業に慣れることによって就労意欲向上や、体力作りを目指します。また新規の施設外就労先の開拓や既存提携先での業務拡大に努めます。

事務補助：パソコンのスキルの向上、また一般就労先の事務の仕事を意識しながら事務作業の習熟に努めていきます。

軽作業：絶えず工賃効率の良い新規業務を開拓し、工賃単価の向上を目指します。

給食サービス：食事の提供は他の事業所との差別化にとって重要であり、経費を抑えつつより満足度の高い食事の提供を目指します。

セミナー：一般就労に必要な知識、自己理解、コミュニケーション能力の向上などを目標として行います。職員が講師となって、SSTの研修などを継続的に行うほか、外部講師による仕事に対する考え方の話をとりあげる予定です。

相談支援：面接を通じて利用者の目標を明確にし、日常生活の質の向上や就労の実現を目的とします。

ミーティング及びグループワーク：日常生活や就労を目指す上での悩みや、困りごとなどについて仲間話し合い、解決していく力を身につけることを目指します。

外出訓練：余暇の楽しみ方、息抜き、集団行動を身につける事を目的として年に1回、利用者、スタッフ、ボランティアの方々で行っています。実施時期、方法は前年度に3年ぶりに開催できましたので、今年度もそれを土台に計画を進めていきます。

以上